資　料　1

令和2年度　第4回　事業評価監視委員会　審議案件一覧表［事後評価］

番号	重点要点	県名	事業名				事業計画等の変化			費用対効果分析の要因の変化							費用便益費（B/C）		【参考】前回評価には含まれていない定性的効果	対応方針（案）
			港名	プロジェクト名	事業評価実施理由	前回評価（年度）	対象施設	施設規模（総延長）	変更内容	全体事業費		事業期間		主な変化要因	主な便益・効果		主な変化要因	全体			
										前回	今回［］は前回との差	前回	今回［］は前回との差		前回	今回［］は前回との差		前回	今回［］は前回との差		
1	重点	青森県	青森港	青森港沖館地区・油川地区防波堤整備事業	供用開始後5年以内（H28.3）	H24［再評価］	防波堤（東）	1700m	－	397億円	401億円［+4億円］	34年 S57 ～ H27	34年 S57 ～ H27	材料・労務単価上昇による建設コスト増加	①輸送コスト削減（フェリー貨物） 344万トン/年 ②輸送コスト削減（バルク貨物） 3万トン/年 ③浸水被害軽減 建物 57棟	①輸送コスト削減（フェリー貨物） 369万トン/年 【+25万トン】 ②輸送コスト削減（バルク貨物） 0万トン/年 【-3万トン】 ③浸水被害軽減 建物 41棟 【-16棟】	取扱実績及び建物数の変化により見直し	3.9	3.6 ［-0.3］	大型クルーズ船の寄港で国際観光収益による地域経済活性化	事業の目的に対する効果を発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
							防波堤（西）（改良）	310m	－												
							防波堤（第一北）	800m	－												
2	要点	福島県	相馬港	相馬港航路・泊地整備事業	供用開始後5年以内（H28.3）	H25［新規］	航路・泊地（水深14m）	22ha	－	63億円	68億円［+5億円］	2年 H26 ～ H27	2年 H26 ～ H27	材料単価上昇、現場条件による建設コスト増加	①輸送コスト削減（LNG） 71万トン/年	①輸送コスト削減（LNG） 34万トン/年 ［-37万トン］	取扱実績の変化により見直し	7.4	3.2 ［-4.2］ ※7.9 ※便益対象貨物量を速報値(R2)で計算した場合	福島天然ガス発電所立地による地域経済活性化	事業の目的に対する効果を発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
							泊地（水深14m）	3ha	－												
							護岸	855m	－												